

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
教育相談実践演習		森下 剛	演習	(通年で) 4	通年 (前期)
必修・選択	修了要件	選択必修			
	資格要件				
学習目標	教育相談にかかわる理論が実際にどのように活かされているかを理解し、カウンセリング・教育相談の現状と課題を把握し、サイコエデュケーションの技法を獲得し、事例検討を通して今日の教育相談の諸問題に対応する実践力を身につける。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	教育相談の意義	教育相談の意義の理解			
2	精神分析療法の実際	精神分析療法について、ケース報告を通しての理解			
3	行動療法の実際	行動療法について、ケース報告を通しての理解			
4	来談者中心療法の実際	来談者中心療法について、ケース報告を通しての理解			
5	認知行動療法の実際	認知行動療法について、ケース報告を通しての理解			
6	家族療法の実際	家族療法について、ケース報告を通しての理解			
7	遊戯療法の実際	遊戯療法について、ケース報告を通しての理解			
8	芸術療法の実際	芸術療法について、ケース報告を通しての理解			
9	カウンセリングの基礎理論	カウンセリングの基礎的な理論の理解			
10	カウンセリング演習（1）	カウンセリングにおけるコミュニケーションの理解			
11	カウンセリング演習（2）	カウンセリングにおけるかかわり技法の習得			
12	保育とカウンセリング	保育とカウンセリングの関係の考察			
13	保育所における保育相談	保育所における保育相談の実際の理解			
14	幼稚園における教育相談	幼稚園における教育相談の実際の理解			
15	専門機関における教育相談	専門機関における教育相談の実際の理解			
参 考 書	新井英靖 『『気になる子ども』の教育相談ケースファイル』 ミネルヴァ書房 2008 久我利孝 『発達障害の教育相談』 同成社 2008				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	これまでの実習や短期大学で学んだ教育相談にかかわる知識や技術をさらに高めるための授業である。自己学習と発表を多く取り入れる				
評価の方法と時期	定期試験の得点を基準とし、授業態度・レポート内容を加味し総合的に評価する。定期試験後に評価を実施。				